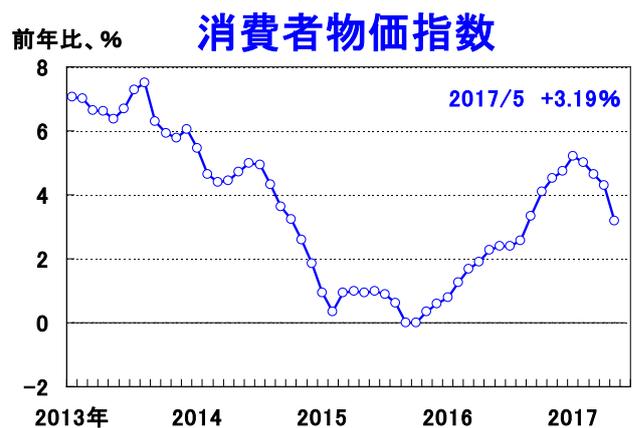
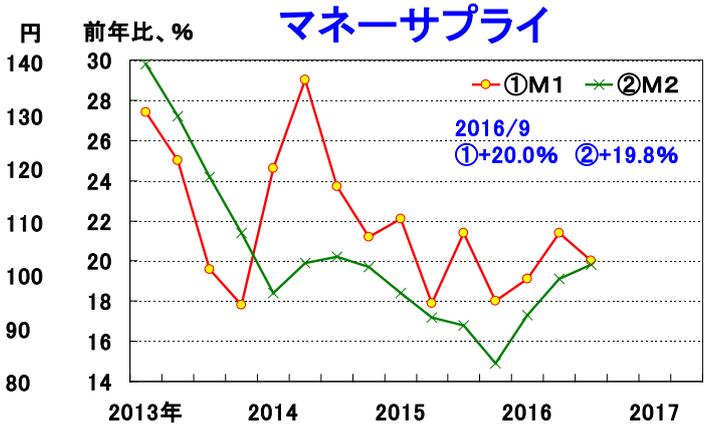
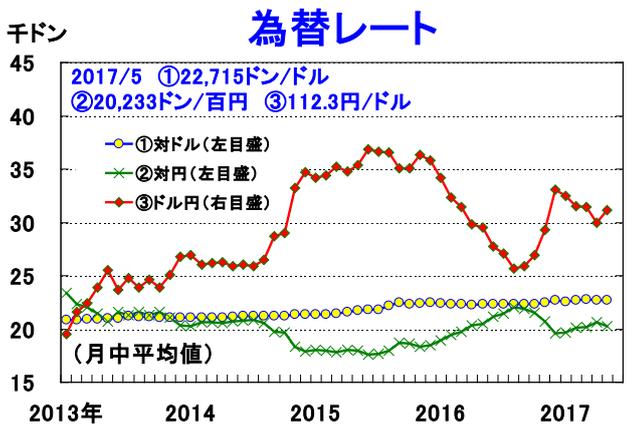
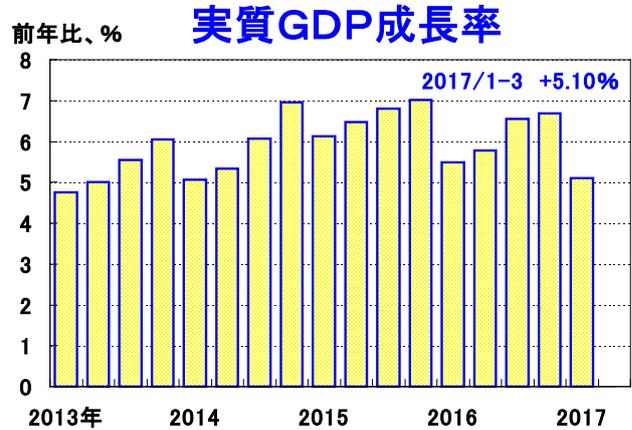
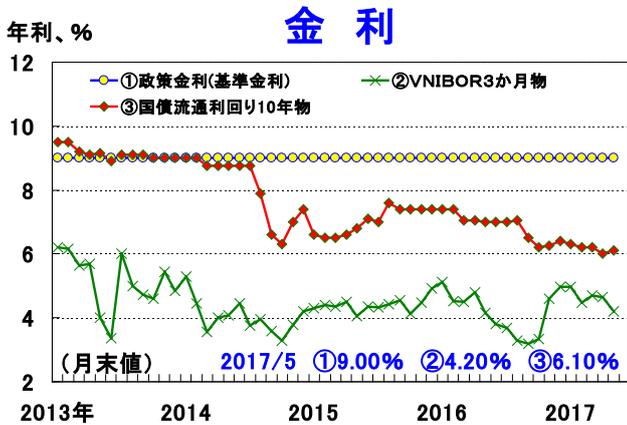


グラフで見るベトナム経済 2017年6月号(No. 89)

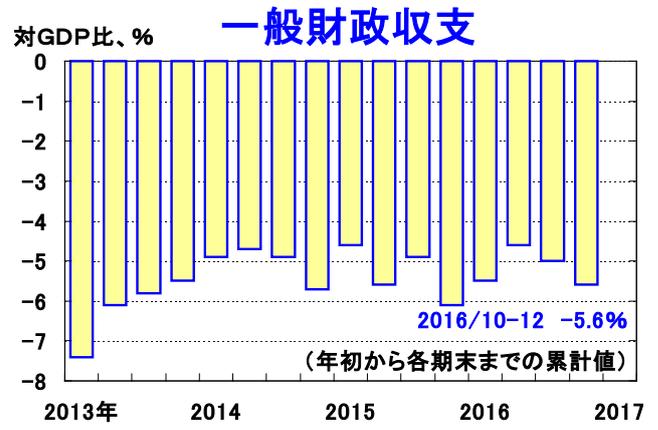
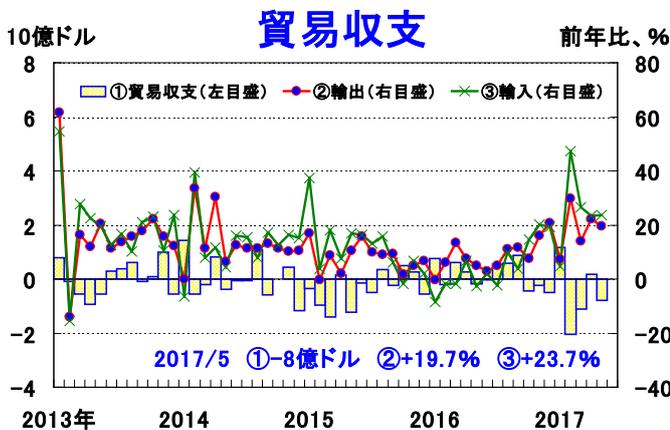
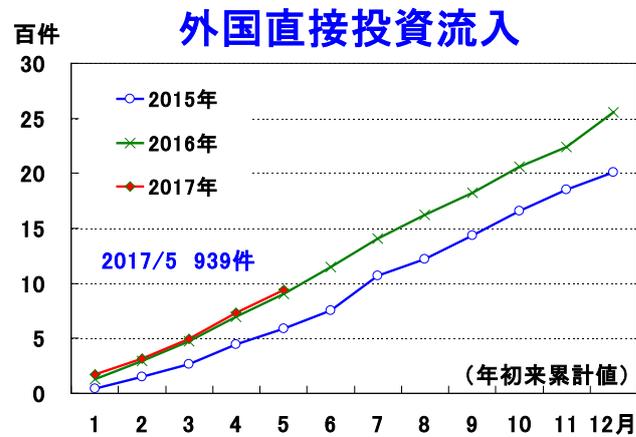
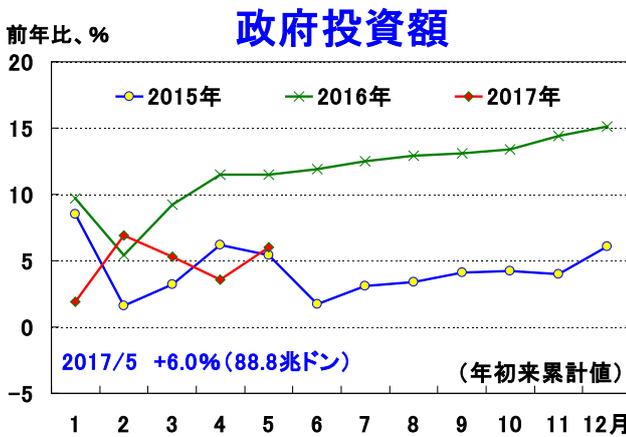
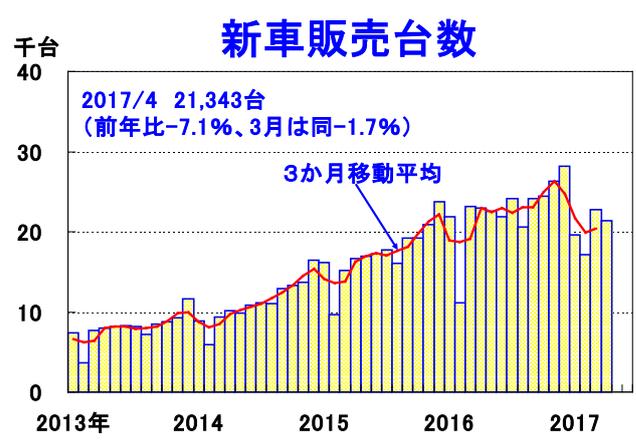
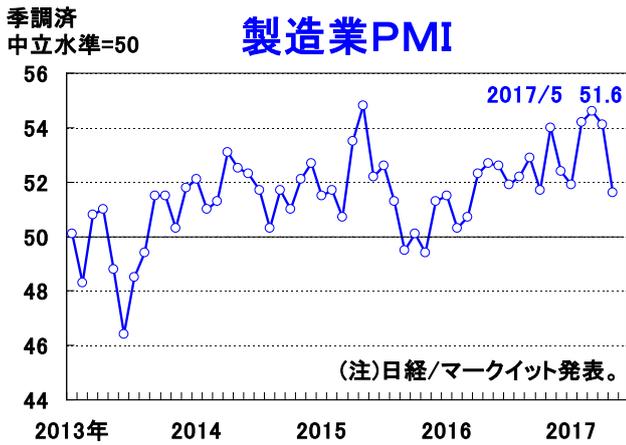
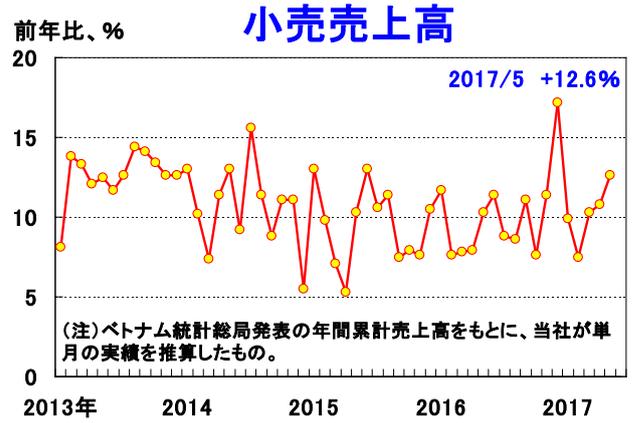
ベトナム景気は、緩やかな回復基調にあるが、企業部門には若干の陰りもみられる。まず、家計部門をみると、5月の小売売上高は前年比+12.6%と3か月連続で伸びが高まっている。一方、企業部門では、5月の輸出が前年比+19.7%と高い伸びで推移したが、同月の鉱工業生産は同+7.2%と前月の伸び(同+7.4%)をやや下回った。5月の製造業PMIは51.6と18か月連続で中立水準(50)を上回ったものの、前月(54.1)に比べて大きく低下している。内訳をみると、「生産」が前月を下回り、「新規受注」も2016年8月以来の低水準となった。



【今月のトピック: 増加するベトナムの銀行の不良債権】 パオベ証券によると、主要10銀行の3月末の不良債権は、16年12月末に比べて6%増加した。4月にナティクス証券がアセアン6か国(ベトナム、タイ、フィリピン、シンガポール、マレーシア、インドネシア)の上場企業の財務体質を評価したレポートによると、ベトナムは最下位となっている。ベトナム企業は短期資金で調達した債務に過度に依存し、返済能力が見劣りする傾向がみられる。不良債権比率が3%を上回った銀行は少数にとどまっているものの、ベトナム政府は銀行に対し早期に不良債権処理に取り組むよう促し始めている。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。